



Mercedes-Benz

Press Information

2023年12月20日

## メルセデス・ベンツ Cクラスのプラグインハイブリッドモデル

### プラグインハイブリッドモデル「C 350 e スポーツ」を発売

- ・ 電気自動車の利便性と内燃機関の安心感を兼ね備えたモデル
- ・ 急速充電CHAdeMOと6.0kWの普通充電に対応
- ・ 給電機能(V2H/V2L)を標準装備<sup>\*1</sup>
- ・ 電気モーターのみで110km<sup>\*2</sup>の走行が可能

\*1: 給電機能を利用するには、別途充電器が必要です。

\*2: EV走行換算距離(等価EVレンジ)

メルセデス・ベンツ日本株式会社(以下 MBJ、社長:上野金太郎、本社:東京都品川区)は、メルセデス・ベンツのベストセラーモデル C クラスに、プラグインハイブリッドモデル「C 350 e スポーツ」(以下、C 350 e)を追加し、全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて本日より発売します。

Cクラスは1982年に「190クラス」として登場以来、動力性能や快適性、安全性などあらゆる面において常にセグメントのベンチマークとされているモデルです。2014年から販売している先代Cクラスは、セダンとステーションワゴンを合わせて、日本で累計約10万台以上を販売し、2015年から2019年まで、年間のセグメントナンバー<sup>\*3</sup>を達成し、数々の賞を受賞するなど、多くのお客様に高い評価をいただいております。

\*3: 欧州委員会の分類概念に基づいた輸入車Dセグメント

現行 C クラスはサポートの精度を高めた安全運転支援システム、直感的な操作設定が可能な縦型の大型センターディスプレイ、直感的な行先案内が可能な AR ナビゲーション、利便性が高い生体認証によるシートポジション等の設定など、フラッグシップモデルであるSクラス譲りの新技術を多数採用しています。また、エクステリアとインテリアのデザインにもSクラス譲りの要素を取り入れながら、随所にCクラスらしいスポーティさも表現しました。さらにメルセデス AMG モデルを含む全ラインアップを電動化<sup>\*4</sup>しました。

\*4: 電動化モデルは、純電気自動車、プラグインハイブリッド車およびISG・BSG(48Vマイルドハイブリッド)採用車を含みます。

#### C 350 e スポーツの特長

今回追加するC 350 eは、最高出力204PS(150kW)、最大トルク320 N・mを発生する2.0リッター直列4気筒ターボエンジンに、容量が25.4kWhのリチウムイオンバッテリーと出力95kW、トルク440N・mの電気モーターを組み合わせたプラグインハイブリッドモデルです。電気モーターのみで140km/hまで走行することができ、走行可能な航続距離は110km<sup>\*5</sup>のため、お買い物や通勤など日常では電気自動車のように使用すること

が可能です。遠方へのドライブではガソリンエンジンで充電しながら走行するなど電気モーターとガソリンエンジンのメリットを掛け合わせることで航続可能距離や充電時間を気にすることなく、安心してお乗り頂くことができる1台です。

\*5: EV走行換算距離(等価EVレンジ)

## **C 350 e スポーツのその他の特長**

### **急速充電器(CHAdemo)と普通充電器対応**

C 350 eは、急速充電器(CHAdemo)に対応しています。また、6.0kW(30A)\*6の交流普通充電にも対応しているため、外出先やご自宅での様々な充電方法に対応しています。

また、車両を蓄電池として利用でき、車外へ電力を供給できる給電機能\*7(V2H、V2L)に対応しております。

\*6: 日本での使用で想定される 200V・30A 充電の場合。

\*7: 給電機能を利用するには、別途充電器が必要です。

### **インテリジェントアクセルペダル**

「インテリジェントアクセルペダル」は「プレッシャポイント機能」を備えています。EV走行モードの際、これ以上アクセルを踏むとエンジンも使用しなければならないというモーター走行の限界点でアクセルペダルの抵抗を増してドライバーに知らせることにより、無駄なエネルギーの消費を抑えるドライビングを実現します。

### **エクステリアデザイン**

静止していても疾走しているかのように見えるダイナミックなプロポーションは、短いフロントオーバーハングと長いホイールベース、そしてリアオーバーハングの組み合わせによるものです。パワードームを備えるスポーティなボンネットも、この前へ前へと進むとする衝動を強調しています。ウインドスクリーンとキャビンを大きく後方に置くことで、Cクラスらしい、伝統的でありながらスポーティなプロポーションとしています。また、「Sensual Purity<sup>センシュアル ビュリティ</sup>(官能的純粋)」というデザインの基本思想に基づき、ラインやエッジを大幅に削減し、曲線を描く彫刻的な面により、特殊な陰影を生み出しています。その中で、サイドウィンドウ下端に近いショルダー部にフロントからリアまでを貫く、「キャットウォークライン」と言う愛称を持つキャラクターラインを一本通すことで、車高を低く、スマートに見せる効果をもたらします。

フロントエンドのヘッドライトは、上下方向に薄く、エッジの効いたクールなデザインです。また、緩やかな多角形のラジエーターグリルの中央にスポーティな印象を与えるスリーポイントツドスターと、よりダイナミックな下部が広がる台形型の「Aシェイプグリル」が採用されます。このグリルにはマットクローム仕上げの小さなスリーポイントツドスターが無数に散りばめられています。また、スポーティでダイナミックなフロントバンパーも備えています。

リアエンドには三角形で横に長い特徴的なデザインの2分割型のリアコンビネーションランプを採用し、よりワイドでシャープに見せるデザインとなります。ランプ内部の精密な構造も、高い品質がディテールまで行きわたっていることを示しています。

## インテリアデザイン

インテリアデザインについても高級感の中にCクラスらしいスポーティさを加えています。

ダッシュボードは上下2つの部分に分かれています。上部は翼のような形状に、航空機エンジンのナセルを想わせる丸みをつけたやや横長の新デザインの角型エアアウトレットが配置されており、スポーティさを演出します。下部には大きなインテリアトリムがあしらわれており、センターコンソールからダッシュボードへと途切れなく続いています。また、ドライバーを重視することでスポーツ感を強調すべく、ダッシュボードと縦型の11.9インチのメディアディスプレイを6度、ドライバー側に傾けたデザインが採用されています。運転席に備わる12.3インチの大型コックピットディスプレイは自立型でダッシュボード上部と大きなインテリアトリムの手前に浮かんでいるように見えます。コックピットディスプレイとメディアディスプレイは3つのスタイル(ジェントル、スポーティ、クラシック)と3つのモード(ナビゲーション、アシスト、サービス)の中から選択することでカスタマイズすることが可能です。

左右、中央のそれぞれのスポークがツインスポークとなるスポーティなステアリングホイールは、ナビゲーションやインストルメントクラスター内の各種設定や安全運転支援システムの設定を手元で完結できる機能性も有しています。さらに、リムに静電容量式センサーを備えたパッドを採用しています。これにより、ステアリングホイールにかかるトルクがなくとも、ドライバーがステアリングホイールを握っていることが認識され、ディスタンスアシスト・ディストロニックの使い勝手を向上しています。

シートの調整スイッチやドアハンドルが配置されたフロントドアのブラックパネルは、エッジがクローム仕上げとなり、ドア表面から浮き上がるようなデザインとなっており、アンビエントライトの照明による上質感を演出します。

オプション設定の室内を彩る「アンビエントライトプレミアム」は64色から選択可能で、単色の発光に加えて色の連続変化が可能です。乗車時には、乗員を迎え入れる演出も設定されています。また、エアコンディショナーの温度設定に連動して、青や赤に点灯します。

## MBUX(メルセデス・ベンツ ユーザー エクスペリエンス)

C 350 eIには、12.3インチのワイドディスプレイを採用するインストルメントクラスターと、11.9インチの縦型ディスプレイを採用するメディアディスプレイの2画面を標準装備しています。

また、対話型インフォテインメントシステム「MBUX」を採用しました。ボイスコントロールは「Hi, Mercedes」をキーワードとして起動します。音声認識機能は多くのインフォテインメント機能(目的地入力、電話通話、音楽選択、気象情報)に加え、クライメートコントロール、各種ヒーター、照明など多様な機能にも対応しています。また、音声認識だけではなく、タッチスクリーン、ステアリングホイールにあるタッチコントロールボタンでも様々な操作をすることが可能です。ドライバーの好みや運転状況に応じて使い分けることが可能です。

## MBUX ARナビゲーション

車両の前面に広がる現実の景色がナビゲーション画面の一部に映し出され、その進むべき道路に矢印が表示されるAR (Augmented Reality = 拡張現実)ナビゲーションをオプション設定しています。従来、目的地を設定して行先案内をする場合、地図上に進むべき道路がハイライトされますが、ARナビゲーションにより、直感的にどの道路に進むべきかを判断することができます\*9。

\*9: オン/オフの切り替えが可能です。オフの場合、従来どおり、地図上の道路をハイライトする画面が表示可能です。また、オンの場合は、ARナビゲーションと従来のナビゲーションが同時に表示されます。

## **生体認証(指紋、声)によるシートポジション等の設定**

ドライバーの指紋、声のいずれかの生体認証もしくはPINコードによる認証によりpうろファイルへのログインが可能です。ログインにより、シート、ステアリング、サイドミラーのポジションやコックピットディスプレイの表示スタイル、ナビゲーションのお気に入り設定などを統合して読み込むことができます\*10。

\*10: 認証せず、全て個別に手動で設定することも可能です。

## **DIGITAL ライト(ウルトラハイビーム付き)**

ヘッドライトには、DIGITAL ライト(ウルトラハイビーム付き)をオプション設定しています。それぞれ照明モジュールを備えています。このモジュールは 100 万個以上の微小な鏡により光を屈折させることで照射方向を定めます。このため、片側のヘッドライトあたりの解像度は 100 万画素以上となりますが、鏡が占める面積は親指の爪ほどの大きさです。この革新的なヘッドライトは、凹面レンズ「DIGITAL LIGHT」のレタリング、ブルーのアクセントも装備され、デザイン性も高められています。

ヘッドライト片側で 100 万以上のエリアに分割可能な光を照射するため、きわめて正確な配光が可能となりました。これにより、ハイビームアシストが対向車や道路標識に光が当たらないように調整する場合の精度が、従来の 84 画素の光に比べて精度が大きく高まっており、ハイウェイモードやカントリーモード、フォグランプ強化機能などの照明が最大限効果的なものとなりました。

## **テレマティクスサービス「Mercedes me connect」**

自動車が通信することによりお客様の利便性を向上する先進的なテレマティクスサービス「Mercedes me connect」は、「安心・安全」と「快適」の側面からお客様のカーライフをサポートします。

### **「3年間無料、以降7年間自動で継続されるサービス」**

- 24時間緊急通報サービス\*11: 事故検知時(エアバッグ、シートベルトテンショナー展開時)または車内にあるSOSボタン押下時に、コールセンターが必要に応じて消防に連絡します。
- 24時間故障通報サービス: ツーリングサポートが必要な際に、車内にあるmeボタンを押すとツーリングサポートセンターにつながります。
- リモート(車両)ステータス確認: 車両の走行距離、平均燃費等の状態をアプリ等で確認できます。
- Send2Car: スマートフォンから、ナビゲーションの目的地を遠隔設定できます。

\*11: 別途ボッシュサービスソリューションズとの契約が必要です。

### **「3年間無料のサービス」(有料で継続可)**

- リモートウインドウ & サンルーフコントロール\*12: スマートフォンの操作でウインドウやスライディングルーフの開閉ができます。
- リモートドアロック&アンロック: スマートフォンの操作で車両ドアのロック、アンロックができます。
- 駐車位置検索: 駐車した車両の位置をアプリの地図上に表示します。
- オフストリートパーキング(オンライン駐車場情報): 駐車場の場所だけではなく空車情報もリアルタイムでナビゲーション地図上に表示します。

\*12: リモートサンルーフコントロールはオプション装備のパノラミックスライディングルーフ装着車のみご利用可能。

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。(MP:202401)

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格 <sup>*15</sup> ( )内は消費税抜き車両本体価格
C 200 アバンギャルド (ISG 搭載モデル) <sup>*13</sup>	右	1.5L、直 4 直噴ターボ	¥6,980,000 (¥6,345,456)
C 200 4MATIC アバンギャルド (ISG 搭載モデル) <sup>*13</sup>			¥7,310,000 (¥6,645,456)
C 220 d アバンギャルド (ISG 搭載モデル) <sup>*13</sup>		2.0L、直 4 直噴 ディーゼルトターボ	¥7,130,000 (¥6,481,819)
<b>C 350 e スポーツ</b>		2.0L、直 4 直噴ターボ +プラグインハイブリッド	<b>¥9,950,000</b> (¥9,045,455)
メルセデス AMG C 43 4MATIC (BSG 搭載モデル) <sup>*14</sup>	左/右	2.0L、直 4 直噴ターボ	¥12,110,000 (¥11,009,091)
メルセデス AMG C 63 S E PERFORMANCE		2.0L、直 4 直噴ターボ +プラグインハイブリッド	¥16,600,000 (¥15,090,909)

\*13: ISG は Integrated Starter Generator の略称です。

\*14: BSG は Belt-driven Starter Generator の略称です。

\*15: 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また、「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。メーカー希望小売価格は参考価格です。価格は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは各販売店にお問い合わせ下さい。

なお、「C 350 e スポーツ」には、新車購入から3年間、一般保証修理/定期メンテナンス(点検整備の作業工賃・交換部品)/24時間ツーリングサポート/地図データ更新<sup>\*16</sup>が無償で提供される走行距離無制限の保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。

メルセデス・ケア終了後も引き続き2年間、一般保証、定期メンテナンスや24時間ツーリングサポートをご利用いただける有償のサービスプログラム「メンテナンス&保証プラス<sup>\*17</sup>」をご用意しています。

\*17: メンテナンスサービスは総走行距離 75,000km までで終了となります。



メルセデス・ベンツ C 350 e スポーツ

※本プレスリリースに記載されている仕様およびメーカー希望小売価格は、発行日現在の内容です。